



北本市立宮内中学校 学校教育目標 自立貢献

# 宮内中だより

No.6 令和3年10月号

重点目標

「継承と創造」

「安心・安全」

「信頼」



＜自立貢献＞ 学：学び続ける 恕：思いやる 錬：鍛える

校長 西山 宏

緊急事態宣言下での2学期が始まりました。学校生活では、引き続き様々な感染防止対策がとられています。そのような中、非常に残念ですが大きな行事が2つ中止となりました。

本校では9月8日（水）～9月10日（金）まで3年生が関西方面の修学旅行を計画していました。しかし、①埼玉県及び京都府にも宣言が出されている。②埼玉県、北本市で陽性者数が増加している。③感染防止対策を徹底しても、修学旅行中の健康・安全を守ることが困難である。以上のことから8月18日に中止を判断しました。3年生の皆さんが事前学習を進めてきたことは先生方から聞いていました。生活の決まり・持ち物・名所や修学のポイントをまとめていたこと。掲示物の作成・グループ行動の計画を立てていたこと。3年生が楽しみにしていた大きな行事の一つであること。全て分かったうえでの決断でした。8月20日に保護者へ中止の連絡メール。9月1日の始業式では保護者へ文書にて通知。生徒へは始業式で校長より中止の（連絡）話しをしました。

もう一つは、9月27日から実施予定であった新人体育大会です。北本市では緊急事態宣言を受けて、感染防止対策を徹底するために9月12日（日）まで部活動を停止していました。他の市町も同様に活動制限を行っていたようです。中体連の支部長会、理事会で協議した結果、大きく以下の理由で中止を決定し、各学校に通知されました。①活動が制限されており、大会前の練習不足による怪我が心配であること ②県の新人体育大会が感染症拡大防止の点から中止となったこと。③短縮日課等を実施している市町もあり、まずは正常な教育活動に戻すことが優先であること。

誰が悪いわけではありませんが、新型コロナウイルス感染症の対応が始まって、約1年と7か月。普段の家庭での生活も、学校生活も大きく変わりました。当たり前のように実施していた全ての教育活動が変わりました。高校入試前の面接練習で「中学校生活の一番の思い出は何ですか？」と聞くと、多くの生徒が「部活動」「体育祭」「修学旅行」「音楽祭」と答えます。どれも中止、内容の変更をしているものばかりです。生徒にとって、とても大きな行事の中止。前を向くしかありません。



校長室は基本的に校長が掃除をします。（当たり前ですね）清掃時間も同じで生徒が校長室に入ることはありません。先日の清掃時間でのやり取り。職員室・校長室前 廊下掃除の1年生に「申し訳ないが校長室の床も掃いてもらえないか？」と頼んだところ「わかりました」と3人の男子生徒が。中に入ると非常に手際よく、隅々まで丁寧に掃いてくれました。「掃除がよくできますね」と聞くと小学校の時からやっているからだ。私は感心するとともに、嬉しくて担任に「帰りの会で褒めてほしい」と伝えました。小学校の教えが中学校に生きている。まさしく宮内中学校区で実践している「小中一貫教育」の成果の一つであると思います。